

ITTF パラレーティングシステム

選手評価は、他の選手と比較して評価された、技能を表す(点の)数です。

選手の格付けは、その選手および対戦相手の評価との違いに応じて、段階的な量だけ変化する。

次の表は、計算を定義する。

採点の推移表:

rating:格付け (法)、評価、採点、評点付け、評定 等級

upset: ひっくり返ること 混乱、騒動、興奮状態 据え込み めちゃくちゃの、番狂わせの

格付けの差異 Rating Difference	通常結果	イレギュラーな結果
<25	8	8
<50	7	10
<100	5	12
<150	3	15
<200	2	20
<250	1	26
	0	32

上記にかかわらず、以下の追加基準が 2014 年から適用される。

a) 格付けの差が 250 以上の勝者は最低 1 ポイントが得られる。

b) 敗者に対して、相手のクラスよりも低い場合には控除は行わない

C) ボーナスポイントは、以下のように個人戦のメダリストに授与される: 金 3、銀 2、銅 1

これらは、各トーナメントのクレジット期間の終了時をもって満了となる。

勝者の評価は上記表中の数により増加し(以下の重み係数によって調整され)、一方敗者の評価は上記表中の数により減少する。

重み付け表

重み付け	競技
1.5	Fa40 以上の個人戦
1.0	Fa20 の個人戦と全ての団体戦

最重要試合では、上記の重み付けは勝者のポイントのみに適用され、敗者のポイントは、重み係数によって調整はされない。

選手は彼らの最初の結果に基づき初期評価が割り当てられ、すでに十分な結果が出ていれば、なされるべき力の合理的な近似値が認められる。これにより、さらなる結果が受けられ、いつでも見直しがある。

・選手の評価は1つのみ、これと同じ評価ポイントで適切な評価リストに表示される。

・シングルの全ての結果が扱われる。ダブルスの試合は含まれない。

選手は最後の予選試合から、12ヶ月の有効期限が切れているまで評価リストに表示される。

・リストに(参加不足により)記載されない選手は、格付けを保持し、シードを決定するために使用され得る。

・暦年1年間、どの定格試合にも出場していない選手は、その評価は各年度末の5%の割合で減価さなければならぬ。

また、各暦年の終わりに、システムの変動を増やすため、すべての選手のポイントに直線圧縮アルゴリズムが適用できる。